

会期

2022年2月5日(土)

開催形式

オンライン開催

学会参加費

4,000円 (2021年度の年会費2,000円含む)



第35回 神奈川母性衛生学会学術集会

テーマ 母子とともにあるプロフェッショナリズムの発展

主催 神奈川母性衛生学会

大会長 中村 幸代
(横浜市立大学医学部 看護学科 母性看護学 教授)

学会WEBサイト <https://supportoffice.jp/kanabo35/>



会長講演 「冷えを科学する」 中村幸代氏 (横浜市立大学医学部看護学科 母性看護学 教授)

特別講演 「オキシトシンを手がかりに周産期ケアを創る」 堀内成子氏 (聖路加国際大学 学長)

教育講演① 「日本における多様性のとらえ方～LGBTの視点から～」 玉津理沙氏 (一般社団法人CialFrame認定講師
SOGIプロフェッショナルインストラクター/EEs!虹の架け橋クラブ 第1・2期副代表)

教育講演② 「新型コロナウイルスが周産期医療に与える課題」 倉澤健太郎氏 (横浜市立大学医学部 産科婦人科 准教授)

お問い合わせ先

第35回神奈川母性衛生学会 運営事務局
有限会社ビジョンブリッジ
〒162-0833 東京都新宿区単筒町43 新神楽坂ビル2階
TEL: 03-5229-6888 / E-mail: 35ksmh@visionbridge.jp

事務局

横浜市立大学医学部看護学科
母性看護学領域内
〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
E-mail: kanagawabosei2022@gmail.com